

# 人権教育学級 開級式・第1回学習会

日時：6月1日（金） 9：50～12：00

場所：別府市役所 5F大会議室

## ●開級式

- 1 はじめの言葉
- 2 あいさつ

### <別府市教育委員会 寺岡悌二教育長>

・・・ご承知の通り、2016年に障がい者の差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別の解消推進法等が法整備されたのですが、まだ、依然として差別や偏見等の書き込み、インターネット等、悩んでいる人がいるという状況がございます。・・・やはりこの人権教育学級を通して人権の見方、考え方、感じ方をしっかり学習しないといけないと思います。

今、幼児教育から、小学校、中学校、高等学校、社会人もそうですけど、知らない、無関心ということが一番怖いような気がしますので、しっかりと研修と学習をすることが必要であろうと思います。・・・年8回の学習会と聞いておりますので今までの自分と違った考え方、感じ方、そういうものを学ぶ機会になればと思います。どうか、1年間長いですが、それでも皆さんにとって有意義な学習会となることをお祈りしまして挨拶とします。

（一部掲載、聞き取り）



### <別府市PTA連合会 大塚俊夫会長>

・・・この人権教育学級は36年の歴史があるとうかがっております。・・・これだけ長い間、延べ人数でいうと2万5千人を超えるということで他の郡市の模範になれるよう活動を続けていければと感じているところでございます。・・・この人権教育学級の目的は、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題を正しく理解し、その解決に向けて明るい社会の実現を目指すための人材の育成を図ることですので、そこのところを正しく理



解し、年間充実した活動になればと願っています。・・・しっかり学んで自分のご家庭やPTA活動、そして、地域活動に活かしていけばこの会も非常に今後盛り上がっていくのではと感じているところでございます。・・・今年1年間よろしくお願いいたします。

(一部掲載、聞き取り)

- 3 主催者・共催者・職員紹介
- 4 託児担当者の紹介
- 5 終わりの言葉

## I オリエンテーション

### はじめに

- ・人権とは
- ・世界人権宣言・・・今年で70周年
- ・別府市の人権教育・啓発の基本的なあり方
  - 基本理念 「すべての市民が・・・共生社会を築く」
  - 目標 「人権という普遍的文化を別府市において構築し、・・・『国際観光文化都市』を実現する
- ・人権教育学級の目的
  - 「・・・差別のない明るい社会の実現をめざすための人材の育成を図る」

### 人権教育学級の進め方

- ・昨年度のアンケートから
- ・本年度の進め方について
- ・その他

## II 学習会

### 1 DVD視聴「新・人権入門」

- ・職場が舞台 ・いろいろな人権問題をからめた16のエピソード
- ・身の回りで起こっている人権問題についての気づき

### 2 人権8課題について

- ・人権とは 日本国憲法11条、14条の確認
- ・世界人権宣言
- ・私たちが願う社会とは
- ・人権8課題とは

- ①同和問題 ②子どもの問題 ③女性の問題 ④医療をめぐる問題  
⑤障がい者の問題 ⑥高齢者の問題 ⑦外国人の問題 ⑧さまざまな人権問題

- ・人権侵害とは→幸せに生きるための権利を侵害すること
- ・差別とは→異質の排除、支配と従属
- ・差別や人権侵害をなくすために

「関係ない」から「向き合うこと」へそして、「正しく知る」「偏見を無くす」学びあうことによって、「気づく」「人権感覚を磨く」・・・そして、態度や行動へさまざまな人権侵害をなくし、人権が尊重される社会をつくるためには、私たち一人ひとりの「**不断の努力**」が必要です。

### 3 グループ討議

10班に分かれてグループで話し合いをしました。

### 4 班での話し合い後の感想から

今回は、2つの班に発表していただきました。

発表を含めて次のような感想や意見等が出されましたので、そのいくつかを要約してご紹介します。

- 今回は、人権学習だったのでDVDも「こんな言葉がだめなんだ。」と意識しながら観ることができましたが、何気なく親子の間でも使っている言葉があるので、気をつけようと思いました。
- 人権は難しい気がしていましたが、DVDを見て自分も周囲も日常的に用いている言葉により傷つく人がいることがわかりました。何気ない言葉が相手を傷つけるということが理解できました。多くの方が今日のような人権を学べる機会があればよいと思います。
- この会に参加して、人権問題に8つの課題があることがわかりました。
- 「悪気がなくても人を傷つける」という言葉が心に残っています。こういう機会がなければ気づけなかったと思います。いいDVDでした。
- たくさんの課題があることに驚きました。すべての場面でこれを四六時中考えると自分の時間にも限りがあるので難しいと思います。自然に感じられるようになるとういのですが、どうすればよいか考えていきたいです。
- DVDを見て、日ごろ何気なく言っているし、言っていたなあ実感、反省しました。いろいろな場面を見て、{これも差別なんだ}と知ることができました。無関心ではなかったつもりだけど、コミュニケーションは大事です。特に、家の中でのコミュニケーションの大切さを感じました。
- LGBTの問題の時に新聞の記事で見た制服の件は大変よい提案だと思いました。



- LGBTは、これまで正しく知る経験がなかったけれど大切だと思います。インターネットの情報が多いのでどれが正しいのか見極めることが大切です。
- 人権意識の高まりや広がりを感じました。人それぞれ捉えかたがちがうので難しい面もありますが、相手のニーズを聞くことと自分のニーズを伝えることが大切だと思います。
- 改めて子どもの人権について考えさせられました。気をつけていこうと思いました。
- 学校での出来事を心配する声が多く、家でもしっかりと話し合いをしなければいけないと思いました。子どもたちは、悪気なく言っているつもりだけど、周りから見れば相手を傷つけているということもあります。しっかりと親子で話すことが大切だと思います。
- 人権が尊重される社会をつくるためには私たち一人ひとりの「不断の努力」が大切だと思います。まちがうことはあるかも知れませんが、反省する謙虚さをもって考えていくべきだと感じました。